

令和5年度 建設水道常任委員会行政視察報告書

1 日 程 令和5年5月24日（水）～26日（金）

2 視 察 先 石川県かほく市、京都府舞鶴市、大阪府大東市

3 調査事項
かほく市

（1）上下水道施設を一体管理とした包括的民間委託について

包括的民間委託により、上下水道施設を一体管理し、料金徴収・窓口業務を追加することで業務規模を拡大し、事業者選定においてもプロポーザル方式を採用することで、民間事業者の運転管理方法等自由な発想や維持管理レベルの向上を促し、より効率的で維持管理水準の高い体制を確立した。

については、本市における上下水道事業経営の参考とするため、これらの取り組み状況等について調査した。

舞鶴市

（1）舞鶴版コンパクトシティ＋ネットワークについて

立地適正化計画において、JRの東舞鶴駅と西舞鶴駅をそれぞれ中心に都市機能と居住を誘導する区域を極狭い範囲で設定し、賑わいを創出するとともに、市域全体を支える役割をそれぞれで分担する計画を策定した。また、都市の拡大を前提とした都市計画制度を抜本的に見直し、商業地域の集約とともに、将来の人口規模に見合った市街化区域規模に見直し、都市集約化の基盤づくりを図った。

については、本市におけるまちづくりの参考とするため、これらの取り組みの状況等について調査した。

大東市

（1）morineki（もりねき）プロジェクトについて

市営住宅の建て替えに、全国で初めてPPP手法を用い、行政と民間事業者が連携して開発を行った事例で、民主導で資金調達から、建築、所有、不動産運営まで一貫して行うもの。市と民間事業者が共同で物件所有会社を設立し、その会社が市からの借地に物件を建て管理する。物件所有会社が明確な事業展望のもと、金融機関から借り入れを行い、採算性と透明性を担保した経営を行う。

については、本市における市営住宅に関する政策の参考とするため、これらの取り組みの状況等について調査した。

4 視察委員	委員長	堤	波志芽	副委員長	山	田	秀	明
	委員	岡	正己	委員	角	田	修	一
	同	須	賀博史	同	新	井	美	加
	同	小	林久子	同	石	塚		武
	同	小	曾根英明					